

「財政健全化を説く教授に MMT 理論のレポートを提出したら 最低評価を受けたのですが？」

令和 2 年 9 月 16 日

●きたみやさんからの質問

私の大学の教授が「財政健全化は日本の生命線」という、「満洲は日本の生命線」と表現も愚かさも全く同レベルの発言をなさりました。その後レポート提出で MMT 理論を展開したら、「君は全く授業内容を理解していない」とコメントされ、評価も最低ランクでした。失礼ながら、こういう事態を先生は多くご経験なさったと存じます。こういった場面での対処法など、よろしければご教授お願い申し上げます。

●西田昌司の答え

「かくすれば かくなるものと 知りながら 己むに己まれぬ 大和魂」、わかっていない大学教授を相手にどうしても真実を伝えたいと願っての行動だったのでしょう。しかし、この大学教授はこれですっと飯を喰っているのですから、(たとえ自らの誤りに気付いたとしても) 誤りを認めることはないでしょう。いくらきたみやさんが MMT を正しく理解していようとも、そのために卒業単位を取れなくなるようなことになってしまっては悲しいですし、適当に相手に合わせるのも処世術の一つです。

いくら正しい考えを持っていようとも、そのことを他人が理解してくれるとは限りませんし、逆にわかっていない連中から馬鹿にされるのが世の常です。特に、MMT のように天動説から地動説への転換に匹敵するような経済学におけるパラダイムシフトとなれば、なかなか理解してもらえないのは仕方ありません。MMT という正しい学説を(教わっている大学教授よりも) 先んじて理解できたということに誇りを持てばそれでよしではないで

しょうか。

とは言うものの、自分の考えを理解してくれる人が周りにいて欲しいものですし、家族や友人にも理解してもらえないとなるとこれは辛いですから、そういった親しい人にはゆっくりと話をして理解してもらってください。私もそうしています。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>